

愛の友協会特別賞

長崎県／18歳／女性／高校生

もりりんか

森 鈴花様

✉手紙の相手：届きそうで届かない君

私は、あなたのことを「推し」と呼んでいます。「推し」といっても、恋愛感情の好きなどではないと私は心の中で思っています。

私のあなたへの第一印象を言っと、

「初恋の人に雰囲気似ているなあ」でした。中学一年生の三学期にその初恋の人に恋をして、私はその男の子と仲が良くなるたびに好きになっていきました。そして、中学二年生の三学期に告白をし、振られてしまったのですが私は別に告白をしたことに後悔はありません。自分の気持ちを伝えることができたからです。高校生になるとその初恋の人とは高校が離れ入学した時に、初恋の人と雰囲気似ているあなたを見つけたのです。ですがあなたとは学科が違うから仲良くなれない。

少し冷たそうで女の子を寄せつけないなど思っていました。インスタであなたのアカウントを見つけ勇気を出して話しかけ

たけどやはり会話は続きませんでした。私はどうしても「推し」のあなたと話したいと思っていたので行事ごとに勇気を出して何回か話しかけたけどやはり会話は続かず今では、話しかけることすら無くなってしまいました。でも、私が一番嬉しかったのは、私のことを知っていてくれたことです。私が、

「私のこと分かる？」と聞くあなたは、

「分かるよ」と言ってくれたとき私のこと知ってくれてるんだと思いき嬉しかったです。学校ですれ違うことにあなたと目が合うことが最近増えてきたと私は思っているけどあなたはどうですか。少しでも、あなたが私のことを知って話してみたいと思ってくれたら嬉しいです。

最後に、手紙だけど、私が今伝えたいことを言います。

「もう少して卒業するね。卒業するまでにあなたと一度いいから直接話してみたい」

〈手紙への想い〉

普段自分が思っていることを手紙の相手に伝えるのは、難しいと思ったので、今回の手紙で自分が思っていることを手紙に書くことで相手が見てくれる機会になるかと思いました。

また、今、私が思っていることを包み隠さずに書きました。